

埼玉県学力・学習状況調査に係る効果的な取組事例（小学校・算数）

三郷市立吹上小学校

1 本校の概要

(1) 埼玉県学力・学習状況調査の結果等

学年	伸びた層			本事例で取り上げた領域				左記以外に取り上げた主な取組
	上位層	中位層	下位層	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
6	○	○	○					ノート指導・家庭学習の充実

※ 「伸びた層」は、一番伸びた層に『○』。各層において同じ伸びの場合は、複数の層に『○』。

(2) 伸びた結果の要因、背景

- ①教科指導充実加配と担任による少人数指導の充実 ②家庭学習指導の充実 ③道徳教育の充実

2 具体的な取組

(1) 教育委員会との連携による取組

- ①三郷の教育3つの宝 ・授業規律 ・日本一の読書のまち ・親の学習
②算数・数学課題解決研究委嘱(三郷市教育委員会)



【児童の考えを大切に作る板書】

(2) 本校独自の取組

①質の高い授業

- ・指導案検討・事前模擬授業においても指導者を招聘し、授業研究を通して更に授業の質を高めた。
- ・教材教具、掲示物等を少人数指導担当が毎時間用意し学年で足並みを揃え分かりやすい授業を展開。
- ・道徳のオリエンテーション、学校公開時の全学級道徳授業公開等による質の向上と家庭の理解 と協力。

②ノート指導の充実

- ・算数ノートは必ず毎時間集め、振り返りに対し担任がコメントで励まし、意欲付けを図った。
- ・間違えた子は最後まで見届ける。(直す部分に付箋を貼り、直したら担任に提出)
- ・ノートは学習の足跡であるということが浸透し、整理されたノートづくりに取り組んだため、学習内容の定着や既習の活用に役立った。

③家庭学習の充実

- ・家庭学習に積極的に取り組ませ、自主学習ノートに担任が必ず毎日励ましのコメントを入れた。(年度初めに学年集会で学習に取り組む意義や学習の進め方を詳しく指導した。また、しっかりと取り組んでいる子の紹介も定期的に行った。)
- ・4つのパーフェクトチャレンジによる家庭生活の充実(家庭学習・家庭読書・挨拶・お手伝い、月15日完全実施で校長賞授与)



3 成果と課題

(1) 児童の変容した(伸びた)姿について

①教員の見取りから

- ・道徳教育にも力を入れてきたので、心が育ち、自分や将来のことを深く考え、他者との関わりを大切にしながら、学習することの意義や意味を理解して授業に取り組んでいるように感じられる。
- ・先生や友達の話をよく聞いている。
- ・自力解決時に、自分の考えをどうすれば友達に分かりやすく説明できるか、キャラクターを使って吹き出しにするなど工夫して楽しみながら考えている。
- ・分からないことや難しいと感じる問題に対しても、友達と話し合ったり担任に聞きに行ったりするなどして意欲的に学習するようになっている。

②アンケート結果から(質問紙で「よく当てはまる」が県平均+20P以上の主な項目)

- ・学級は落ち着いて学習する様子でしたか
- ・勉強をしている時に、やっていることが正しくできているか確かめる
- ・自分にはよいところがある
- ・分からない所があったら先生に聞く

(2) 分析結果を受け、これからの実践に向けての課題

- ・算数と道徳の校内研修に取り組んでいるので、知・徳がバランスよく育ち相乗効果が見られる。しかし、質問紙の結果を見ると『物事を楽しみながら頑張る』『授業中は自分がやっていることに集中する』の項目が県平均よりわずかに下回っている。今後も基礎・基本を重視し、活用場面を工夫して知的好奇心を刺激し、個別指導を工夫して楽しく集中できる授業づくりに取り組んでいきたい。